

第6章 阿多野用水と小山町

第1節 これからの阿多野用水

阿多野用水が江戸時代に築造されてから約 350 年、現在まで豊富な湧水によって阿多野地区を潤すことができているのは、先人の工夫と地域住民のたゆまぬ維持管理が行われてきたことによります。阿多野用水は農業用水及び生活用水として、地域住民の生活を支えるだけではなく、地域の歴史を物語る心のよりどころとして、地域住民の手で大切に守られてきました。現在、阿多野用水の維持管理は阿多野区の事業として実施され、その具体的な取組みとして、次の3つが行われています。

- ①国の補助金を活用した中山間地域総合整備事業として、受益者 57 名による約 23ha のほ場整備事業に取り組んでいます。従来の本堰、中堰、下堰の水系を維持しながら、利便性や収益性の高い農地整備を目指し、令和 4 年度（2022）から令和 12 年度（2030）の完成を目途として実施しています。
- ②維持管理の持続性を高めるため、令和 5 年度（2023）から国の多面的機能支払交付金を活用し、阿多野営農資源保全会を組織して、用水池、水路、農道などの維持管理を行っています。
- ③生活排水の処理水は毛管湿潤トレンチを使用し、用水路への排水は禁止することで、阿多野地区の水質を維持しています。

表 6-1 中山間地域農業農村総合整備事業の概要（静岡県東部農林事務所）

事業名	国	中山間地域農業農村総合整備事業/補助金							
	件	中山間地域総合整備（一般型）							
地区名	小山				着手	完了(予定)			
関係市町	小山町				R 4	R12			
受益面積	62.3ha	受益戸数	176 戸			負担率 %			
総事業費(千円)	R 6 まで(千円)		進捗率	R 7 (千円)	国	県	地元		
1,379,000		277,520		20.1%	289,480		55	30	15
事業内容	区画整理工 4 工区：原向、阿多野(北、南)、一色島土、桑木(1～5) 用水路 6 箇所：上野 1、上野 2、所領 1、所領 2、下原、桑木								
小山町の中山間地域総合整備事業は、平成 9 年度の足柄地区に始まり、平成 22 年には足柄金時地区、平成 26 年には北郷南西部地区が採択されてきた。しかし、町内には、いまだ基盤整備が全く行われていない農地や用水路も多く、営農や維持管理に支障をきたしている。このため、区画整備 4 工区、用水路工区 6 路線を総合的に整備し、農業生産性の向上と維持管理労力の軽減を図るとともに、地域農業の持続性を向上させる。									

これらの取組みに加えて、維持管理の方法や用水利用の様々な工夫を周知することによって、阿多野地区の豊かな農業の発展を推進し、ひいてはその礎となった阿多野用水の歴史を広く継承することを目指します。

第2節 小山町における阿多野用水

築造当時やその後の災害復旧の記録が多く残されている阿多野用水は、小山町にとって貴重な文化遺産です。また、現在の阿多野地区が豊かな農業地帯を持つ所以は、かつて先人が手で地中を掘り抜き、水を引き、荒地だった阿多野に新田を築き上げたことによります。稲作や畑作はもとより、水掛け菜（水菜）発祥の地とされる阿多野地域の農業環境に加え、阿多野用水にまつわる歴史を大切にし、地域の誇りでありつづけるためにも、小山町は今後も地域住民と連携し、維持管理を続けます。